

記者会見概要

【日 時】 平成 29 年 7 月 25 日（火） 16 時 00 分～16 時 16 分

【場 所】 都道府県会館 5 階 全国議長会 会議室

【発言概要】

柳居会長：本日の定例総会で第 71 代会長に選任された山口県議会議員長の柳居俊学です。

今年は、地方自治法施行 70 周年に当たり、また来年は、明治改元 150 年を迎えるという節目の時に、本会の会長に選任されたことは、身に余る光栄であり、その職責の重さに身の引き締まる思いであります。

今後は、本日改選された役員をはじめ、会員各位の協力をいただき、また、地方六団体の皆様とも一致協力の上、地方自治の発展、地方議会の更なる充実強化に向けて、本会がその役割をしっかりと果たせるよう、会長としての職務に精励をしていく覚悟でございます。

特に、今、地方を巡っては、地方創生の着実な進展や地方財政基盤の充実をはじめとした共通課題が山積しておりますので、役員・会員一丸となって、地方の思いをしっかりと国・政府に届け、課題解決に取り組んでいかなければならないと考えております。

また、本会の重要課題である「地方議会議員の厚生年金加入」については、引き続き、早期実現に向けて取り組んでいきたいと考えております。

いずれにしても、歴史と伝統のある全国都道府県議会議員長の会長という、本当に身に余る職責ではありますが、一所懸命努力し、そして各県の共通課題、諸問題の解決に向けて、全力を注いでまいります。

記者：年金加入について伺いたい。先ほどの総会において各議会の議員の意見がまとまっていないという意見があった。賛否分かれる話だと思うが、やはり、自治体の財政負担が生じるという点で、いろいろと反発もあると聞いている。そのあたりに関しては、どのようにクリアしていくべきだと考えているのか。

柳居会長：この件は、平成 23 年の衆・参議院の附帯決議から、今日まで実現に向けて努力をしてきている案件です。本日の定例総会でも決議が決定されたところであります。各県いろいろ事情があることは承知していますが、総じてこの地方議会議員の処遇の問題により、議員を志す者が少なくなっているのです、やはり、そうした安定した支援は必要であると考えています。

記者：ご自身の地元の経験や、山口県内での地方選挙への擁立などのなかで、やはり出馬しにくいという声が入っているのか。

柳居会長：私は、特に離島の出身であり、高齢化、過疎化ともに著しく進行した地域ですので、やはり地方議会の果たす役割は大変大きなものがあります。次を担う優秀な人材を育てていくことは、大変必要であると考えています。

記者：一方、地方で取材をしていると、市町村議会では、そういったニーズがかなり大きいように感じるが、都道府県議会や政令市議会などでは、かなり事情に差があるように思える。そのため、市町村や都道府県などの各議会で判断することができる方が良いのではないかという声も聞こえる。全国一律ということが必要である理由には、どういったものがあるのか。

柳居会長：地方議員、地方議会の果たす役割というのは千差万別いろいろあると思いますが、やはり地方からのそういう活動というのは必要であろうと考えます。各県の事情もありますが、いずれにしても反対というのではなくて、もう少し調整を、というように私は受け止めました。総じて賛成というふうに理解をしています。

記者：今後官邸に要望するというような話も先程あったが、今後、会長としてはどう動かされるか。

柳居会長：今日、決議が提案され、決定していただいたので、これを実現するために、それぞれの役を通じて関係要路にお願いしていこうと思います。

記者：今、会として促してきた意見書の採択は、31 道県だったと思うが、まだ3分の1 ぐらいできてないところがあるかと思う。この辺に関してはどう考えているのか。

柳居会長：個々それぞれの詳しい事情は正確には承知をしていませんが、いろいろな事情もあると聞いています。そういう中で基本的にはこういった制度に是非加入できるようにすべきだと思います。

記者：ご自身としても年金がないということに対して、やはり必要だとお感じになれるか。

柳居会長：先輩議員や同僚を見ていると必要だと思いますね。

記者：結構、理解を得るためには、努力が必要な案件だと思うが、地方議会においてはどういう取組をすべきだと思うか。

柳居会長：私どもは議会の改革をしたり、それから、住民、県民に開かれた議会の運営であるとか、更なる透明性を確保していくとか、こういったことに努力をしていく必要があると思います。

記者：それは年金の議論と同時進行でということか。

柳居会長：そういうことをやっていくのは、これからの課題だと思っています。

記者：万博についても伺いたい。決議文にも全国的な波及効果を期待するようなことが書かれているが、山口県の議員の立場として、関西で万博をやるというのはどういう効果が期待できるとお考えか。

柳居会長：前回の万博のときも国民的な大変素晴らしいイベントだったと思っています。国民、県民が一つの方向に向かって尽力をしていくという大きな目標もできると思いますし、地域、地方への波及効果もあろうかと思っています。日本という国を世界にアピールもできる、素晴らしいイベントだと思っています。

記者：議長会として今後具体的に万博誘致に向けて何かやるという可能性はあるのか。

柳居会長：これからだろうと思いますが、他の団体とも一緒になって協議をしながら、協力をしていきたいと思っています。

記者：どういったものが考えられるか。先程大阪の議長からは友好都市とのつながりを通じてというような発言があったが。

柳居会長：それは各県、各自治体みんな友好都市を持っていますから、それぞれで手分けしてアピールしていくということも大事だと思います。

記者：2点伺いたい。地方自治体で人口減少が進んでおり、今回の提言でも、地方創生や地方分権を推進するような提言をまとめられたが、一方で、政府機関の地方移転が思うように進まず、企業の地方移転などもまだまだこれからだと思う。現状をどのように見られて、どういう点を訴えていきたいか。抱負のようなところを伺いたい。

柳居会長：会長になって、まだ、本日が初日ではありますが、うちの県でいうと、出会いから子育てに至るまで、ありとあらゆる施策を行っています。それから色々な企業の地方移転、併せて地方創生、これで包括しているけれども、政府と一緒にになり、地方の再生に努力をしていくということだと思います。

記者：提言の中で、税財源の確保についてもまとめられている。先日 2018 年予算の概算要求基準を閣議了解されたが、地方交付税の算定については、自治体の基金残高が増えているということから、財務省内には、削減を探る動きや、行政の効率化を求めるような声がある。基金が増えているので、地方交付税についても、考えるべきだという意見があることについてはどう捉えているか。

柳居会長：地方の方が、国よりも、思い切った改革だとか、節約、合理化をやっていると思いますし、平成の大合併というのは、大変大きなことでありました。そういう中で、議員数も減ったり、色々な合併も行われたりということで、ギリギリのところ、地方は頑張っていると思います。そういう中で、災害だとか、色々なことに対応するのに、やはり、少し基金を持っていないと、とても対応ができないので、それは、努力に努力を重ねて、対応しているということだと思います。それを見て地方が裕福だという判断は、ちょっとどうかという気はしております。

記者：国政では、山口県選出の安倍首相が国政を担っていて、全国議長会の会長には柳居会長が就任されて、同じ山口県同士ということで、議長会としての活動もやりやすいのではないかと思うが、会長としてどういうことができるか、ということをお尋ねしたい。

柳居会長：どういうことができるかわかりませんが、私としては、安倍総理大臣の時に、会長に御推挽いただいたことは、この上ない喜びを感じております。総理は常々、地方創生に意を注いでおられますし、地方の経済再生にも努力されていますので、私としては、そういう政権の下で、国と地方がしっかり連携して、これらの成果が上がるような努力をしていきたいと思っています。

記者：参議院選挙の合区解消について伺いたい。今回の提言の中で、都道府県単位で選ばれるのが、望ましいという提言があったと思うが、会長自身も、やはり、都道府県ごとに一人は確保するという考えでよいのか。

柳居会長：私は、それに賛成です。

記者：その手段として、憲法を改正すべきという話が出ているが、確保する手段として、どうあるべきだと考えているのか。

柳居会長：これについては具体的には難しいですが、各県の代表というのは、必要だと思えます。

記者：柳居議長は、長らく議員を務められ、今回、議長会の会長に就任された。会長として、もちろん取りまとめ役というのが、大きなことだと思うが、御自身の経験を活かされて、取り組んでいきたい施策などがあつたら、教えてもらいたい。

柳居会長：当面は、今日、決議で決まったことを実現するように全力投球をいたします。政府への提言の中には、地方創生から農林水産に至るまで、各案件がありますので、これを一つでも実現に向けて、努力をしていきたいと思っています。

(以 上)